

笠間市の監査委員を紹介

監査委員は、人格が高潔で、市の財務管理や事業の経営管理その他行政運営に関する識見を有する人及び市議会議員の中から選ばれます。主に、行政サービスが適法であるか、能率よく運営されているか、さらに不正がないかなど、幅広い観点から監査を行います。

職 名	委 員	委 員	委 員
氏 名	 石川 亨 すずむ	 海野 隆夫	 大関 久義
任 期	平成18年6月23日 から4年間	平成19年4月1日 から4年間	平成19年1月5日 から議員の任期

■問合せ先：監査委員事務局(内線575)

こんにちは市長室です



山口市長

「文化交流都市」かさま

「文化交流都市」、市民の皆様には聞きなれない、初めて耳にする言葉だと思っています。「文化交流都市」は、去る3月に作成した笠間市総合計画の中で、市の将来像を表した「言葉」であります。

「文化交流都市」のイメージとして、「文化」は幅広いとらえ方ができます。笠間市独自の芸術、地場産、歴史、伝統行事、さらには、音楽、スポーツなど、それらの地域資源を今後のまちづくりの中でさらに生かし、新たな創造の拡大を図ること、一方で交通条件のめぐまれた茨城県中央部に位置する「地の利」を生かし、交流人口、定住人口の拡大を図り、産業の活性を進め、人と物、情報の交流拠点と成り得るまちづくりを目指すものです。

今後、文化交流都市づくりのために、総合計画を中心とする各種計画を市民と行政が連携、協働を図りながら実施してまいります。笠間の将来像とえば、「文化交流都市」と覚えてください。



クールシェヴェール国際音楽アカデミー、フェアウェルパーティーにて実行委員小林美知さん(左)、音楽監督辰日明子教授(中央)と

笠間市長
山口伸樹